



# 公明ひのこ

2010年新年号  
KOMIチーム3000

2010年1月発行

大沢ことえ友の会 TEL. 597-3164 ・ かくら 治友の会 TEL. 597-5698

## 慶賀

新春のお慶びを申し上げます。

現在百年に一度という経済不況下の中ではありませんが、政治に停滞は許されません。混迷と激動の時代、公明党は、KOMIチーム3000を掲げ、ネットワーク政党の強みを活かし、様々な総点検運動を実施しています。

地域・現場に根ざした国民本位の政策を切れ目なく打ち出し、国民生活を守り、中小企業を支え、雇用不安を解消してまいる決意です。

町民皆様からの忌憚のないご意見、ご要望を賜れば幸甚に存じます。

日の出町議会議員

大沢ことえ  
かくら 治



(公明党 衆議院議員 高木陽介と)



# 公明党の提案で実現

## ■ 太陽光発電、町単独助成(平成 22 年 4 月より実施予定)

## ■ 電子黒板が全小中学校に

●電子黒板とは…デジタル化された様々な参考資料を瞬時に活用でき、従来とは違った学習指導ができる、又、直接電子黒板にも書ける。このことにより、飛躍的に教育効果をあげるものと期待されます。

## ■ インフルエンザ菌B型(hib・ヒブ)ワクチン助成(平成 22 年 1 月より実施)

●小児の細菌性髄膜炎の約半分は、このインフルエンザ菌・ヒブが原因で、聴力障害、てんかんなどの後遺症をのこしています。ワクチンを接種することで、発症をほぼ完全に予防することが可能になります。

## ■ 肺炎球菌ワクチン接種補助(平成 22 年 1 月より実施)

●日の出町内に住所を有する 65 歳以上の人・1 回 4 千円を上限額とするもの。



# かから治の一般質問要旨 (平成21年12月度定例会)



## (1) 地方分権の確立とさらなる行政改革を!

Q 日の出町「集中改革プラン」その4は、平成21年度で終了するが、その総括は、今後策定される「長期基本構想」はどのようなプロセスで策定されるのか、住民サービス、住民満足度が基本であるが、見解を伺う。

A (町長) 町では集中改革プランを基に、行政コストの削減、スリム化、民間委託の推進、各課の再編等、事務事業全般にわたり効率化を図ってきた。

今後は、行政評価制度により、事務事業の公表、公開、報告書の充実に努め、パブリックコメントを実施する。

A (参事) 「長期基本構想」は10年間であるが、前期5年間の基本構想は平成22年度中に策定する。

Q 行政評価制度と事業仕分け制度の導入はどのように推進するのか。

A (参事) 行政事務報告書の充実を図り、透明性、事務事業の効率化を目指していく、事業仕分けは慎重に検討する。

Q 住民参画の街づくりの一環として、従来の総合計画審議会委員の枠を増やし、幅広い世代、職務の方々も参入させるべきでは。

A (参事) 現在、総合計画審議会委員は25名で組織されている。街づくりアンケート調査も実施しており、幅広い世代の方々の意向を反映できるものと考えている。

## (2) 教育環境のさらなる充実を!

Q スクールニューディール政策の一環として、太陽光パネルの設置、電子黒板の導入は、実施計画を伺う。

A (課長) 電子黒板は一部、小中学校に設置してあるが、来年度からデジタル対応電子黒板を全校に一台ずつ導入する。屋上への太陽光パネルの設置は、防水工事との兼ね合いがあるので、検討課題とさせて頂く。

Q 空調設備の改善が必要と考える。特別教室は、ほとんど導入されているが、夏季は普通教室に扇風機をとの声があるが。

A (課長) 未設置の特別教室は導入してまいります。普通教室への扇風機設置は、教育効果等を踏まえ、検討してまいります。



### 《行政評価制度とは》

自治体の事務事業全般に亘り、公開・公表・透明性を確保し、効率的・効果的に行財政運営をするための手法の1つである。

基本は、住民サービスと満足度を向上させることにあり、Plan(計画)・Do(実施)・See(中間検査)・Chek(査定及び見直し)の4つのサイクルで次年度へ予算反映されるものである。



# 新しい福祉・教育・平和をつくる公明党

(公明党の山口ビジョン)

—「人道の先進国」日本へ—

**3つの挑戦** 私たちは日本の将来ビジョンとして、次の3つの挑戦を掲げ、政策の判断軸としてまいります。

## 1 福祉

### 「中央集権」から 「地域主権」へ

地域で支える協働型福祉社会の実現  
日本社会のあり方を中央集権型から地域  
主導権型に組み替え、自助・共助・公助が  
調和した、分かち合いと支え合いの「地域  
で支える協働型福祉社会」をめざします。

## 2 教育

### 教育のために 行動する社会へ

「子どもの幸福」を最優先する国に  
「子どもこそ主役」との理念に基づき、  
かけがえのない子どもたちの個性・能  
力・創造性・思いやりの心を育むこと  
を最優先する「国」をめざします。

## 3 平和

### 「人道の先進国」へ

核廃絶、平和、環境で世界に貢献する国に  
貧困や紛争などあらゆる脅威から人間を  
守る「人間の安全保障」に立脚し、「核兵器  
廃絶、平和、環境で世界に貢献する日本」  
をめざします。

「大衆とともに」の立党精神に立脚した3000人を超える議院ネットワークは、  
他の党にはない公明党ならではの最大の「財産」です。  
この「KOMEIチーム3000」の力を最大限に発揮し、新しい福祉・教育・平和をつくる  
「人道の先進国」日本をめざし、党の総力を挙げて挑戦します。



(公明党代表 山口なつお)

## ● 第22回参議院議員選挙 東京選挙区候補者 竹谷とし子

たけや としこ  
竹谷 とし子 (40歳)

公明党女性局長次長、同青年局長次長、公認会計士



■ 公明党は、平成21年12月24日、中央幹事会にて来年夏  
の第22回参議院議員通常選挙の東京選挙区候補者として、  
竹谷とし子さんを公認しました。

### ■ ご挨拶

私は、公認会計士として18年、また経営コンサルタントとして  
も発展途上国支援プロジェクトにも携わり、発電所や鉄道事  
業を推進してまいりました。生活者の暮らしを守るため、新し  
い視点で、「一人」を大切に福祉・教育・平和をつくる政治  
を目指してまいります。皆様の温かいご支援を宜しくお願い  
申し上げます。

### ■ 略歴

1969年、北海道・標津町生まれ。40歳。創価大学経済学部  
卒。監査法人勤務を経て、1996年から経営コンサルタントと  
して活躍。日本政府を動かした発展途上国支援プロジェクト  
に尽力。元大手コンサルティング会社執行役員。東京・千代  
田区在住。夫と2人暮らし。

### お知らせ

#### 第一回

女性の健康&カラダ

川柳大賞

募集中!

●女性の健康やカラダにまつわる川柳を募集します。自由にのびのびとした作品をお待ち  
しています。例. 明日こそ 決意倒れの ダイエット  
◆締め切り◆2010年2月7日(日) 必着  
◆応募方法◆郵送又はFAXにて、氏名・フリガナ・住所・電話番号・年齢を明記願います。  
◆宛先◆〒160-0012 東京都新宿区南元町17番地 公明党東京本部内  
「KOMEI女性の健康フェスタ2010」実行委員会 川柳係宛 FAX:03-3353-3281

—暮らしの相談—みなさんから寄せられる「暮らしの相談」が公明党議員の活動の原動力です。  
どうぞ、いつでもお気軽に大沢・かから両議院まで、ご相談をおよせください。

大沢こと丸 042-597-3164 かから 治 042-597-5698

